

2015年3月期 第3四半期決算説明会 質疑応答

2015年2月3日に開催した決算説明会における主な質疑応答は下記の通りです。なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう一部に加筆・修正をしております。

Q1：第3四半期までの進捗率が高いが、なぜ通期業績予想を修正しないのか？

A1：理由は主に3つある。①第3四半期に急激に円高ユーロ安が進み、先が読めない。
②第4四半期の費用について、期ずれ分の発生など含め増加を見込んでいる。③ホスピタル製品の売上が第3四半期は良かったが、環境変化も含め見通しが立ちにくい。開示基準を上回る水準は見込んでいないため、修正していない。

Q2：Ultimaster と Nobori の販売状況は？

A2：Nobori がやや減少したが、Ultimaster が順調に立ちあがっている。Ultimaster の方が収益性が高いので、収益面ではプラスに寄与する。今後日本へ展開されれば、更に収益が向上する。

Q3：第3四半期はホスピタルカンパニーの国内売上が良かったが、「病床稼働率の低下」は戻ったと見ているか？

A3：第2四半期と比較し売上は伸びたものの、稼働率が戻ったと判断するには時期尚早と考えている。

**Q4：第3四半期はD&Dの売上が伸びているが、これは発注のタイミングによるものか？
第4四半期も同様の伸びが期待できるのか？**

A4：主に発注のタイミングによるものであり、今後も同様の伸びが続くかは不透明である。

Q5：血液システムカンパニーは海外で大きく伸びているが、伸びた理由と市場の状況は？

A5：新興国は全セグメントで伸長、先進国では血液自動製剤システムやアフェレシス治療が伸びたが、為替の影響が大きい。市場は、赤血球の需要は減少しているものの、我々が得意とする血小板はそれ程落ちていないが、価格は下落傾向にあり厳しい状況が予想される。

Q6：第4四半期の販促費が増える見込みとのことだが、具体的に何に使うのか？

A6：市販後のスタディーなど期ずれ費用の負担に加え、第3四半期までは抑え目に運用した学会、展示会等の費用発生も見込まれ、第4四半期は計画通りに出てくると見ている。

Q7：中国の減収は商流の見直しによるものと理解しているが、価格低下や競合環境の変化などは影響していないのか？また、この影響はいつまで続くのか？

A7：市場環境の変化ではなく、代理店の再編に伴う2次店、3次店との新たな取引関係の構築に想定より時間がかかっているという社内要因。年度内は影響が残るが、2015年度からは回復させたい。

Q8：心臓血管カンパニーの米国販売体制強化に向けた投資の状況はどうか？

A8：第3四半期にはほぼ予定通りの人員採用状況にあり、計画している体制強化の投資は今期で完了する見込み。

Q9：営業利益の増減分析にある「製品構成の改善」「コストダウン等による粗利益の改善」は、D&Dや基盤医療器など、ホスピタルカンパニーの寄与が大きいのか？

A9：第3四半期に伸びたホスピタルカンパニーの寄与もあるが、期初より好調を維持している心臓血管カンパニーの売上伸長が最大のドライバーである。

Q10：アジアの売上は好調のようだが、来期以降に懸念はあるか？

A10：2014年にインドネシアで国民皆保険が導入されたことで価格の低下につながる等、個別のリスクはあるが、アジア全体としては伸びを期待している。

以上